

適用範囲

コグニザントの全従業員に、この方針を遵守することが期待されています。これには、世界中のすべての取締役、役員、従業員、およびコグニザントのすべての事業部門と子会社、ならびにコグニザントが運営を管理するジョイントベンチャー（総称して「社員および関係者」）が含まれます。

現地法の規定により、本方針の範囲、適用、要件が変更される場合があります。特定の違いは、コグニザントのグローバルコーポレート方針 ウェブサイトの各国固有の内部告発者および報復禁止に関する方針に反映されています。

指針

コグニザントでは、率直に話すことのできる企業文化を推進しています。社員および関係者に疑問や懸念を提起していただくことで、当社は適切な措置を取ることができます。不適切な行為の疑いについて報告があった場合は調査を行い、可能な限り機密に取り扱います。報告は、その国の法律が許容する範囲内で、匿名で行うことができます。

コグニザントは、調査の結果、会社の方針や法律への違反がないことが判明した場合でも、善意で懸念を報告した人に対する報復を一切容認しません。

社員および関係者は以下について理解し行動する必要があります。

- 倫理規範、会社の方針、または法律に対する違反の可能性を疑った場合は、下記のいずれかの手段を使って報告しなければなりません。
- そのような報告を受けた場合は、自分自身で調査を行わないでください。トレーニングを受けたコグニザントの調査担当者が対応できるよう、倫理コンプライアンス部門に速やかに問い合わせてください。
- 違反の疑いを報告した人や調査に協力した人に対して、報復行為を行わないでください。
- 報復とは、懸念を報告した、または調査に参加したという理由で、誰かに対して取られるあらゆる不利な措置と広く定義されます。
- 報告したこと、または調査に協力したことで自身が報復を受けていると感じる場合には、直ちに倫理コンプライアンスヘルプラインまたは倫理コンプライアンス責任者に連絡してください。

報告手段

倫理規範、コグニザントの方針、または法律に対する違反の疑いは、以下の手段で報告してください。

- コグニザントの倫理コンプライアンスヘルプライン（報告はオンラインまたは電話で、匿名で行うことができます）。

関連方針およびプロセス

- 倫理規範
- コグニザントの倫理およびコンプライアンスヘルプライン
- 内部告発者および報復禁止マイクロラーニング
- 会社による調査ウェブページ
- 会社による調査について知っておくべきこと
- グローバルコーポレート方針

- コグニザントの倫理コンプライアンス部門の担当者。
- 最高倫理コンプライアンス責任者のメールボックス。
- 人事部の担当者。
 - EUを拠点とする場合は、人事国内責任者と直接会って内部告発者の懸念を内密に報告する権利があります。
- 郵送：**Cognizant Technology Solutions**
Attn: Chief Ethics & Compliance Officer
Glenpointe Centre West
300 Frank W. Burr Boulevard
Suite 36, 6th Floor
Teaneck, New Jersey 07666
USA

本方針の規定は、社員および関係者の皆さんが法律違反の疑いを政府機関に通報すること、または政府による調査に協力することを妨げるものではありません。その方法について質問がある場合は、法務部または当社の最高倫理コンプライアンス責任者に問い合わせてください。

懲戒処分

コグニザントは、報復からの報告者の保護を含め、本方針への違反を非常に深刻に受け止めます。違反した場合は、（現地の法規制に従って）最高で解雇を含む懲戒処分の対象となります。

バージョン履歴

改訂日	変更内容
2017年1月1日	方針の初回リリース
2019年9月1日	方針内容を完全に更新。関連手順やその他のリソースへの重要なリンクを追加。
2020年10月1日	本方針の各国固有のバージョンへの参照を含むように更新されました。
2023年4月11日	改訂

方針の管理情報

方針名: 内部告発者および報復禁止に関する方針

改訂日: 2023年4月11日

方針担当者: Marc Levin、
最高倫理コンプライアンス責任者

部門: 倫理コンプライアンス

発効日: 2017年1月1日